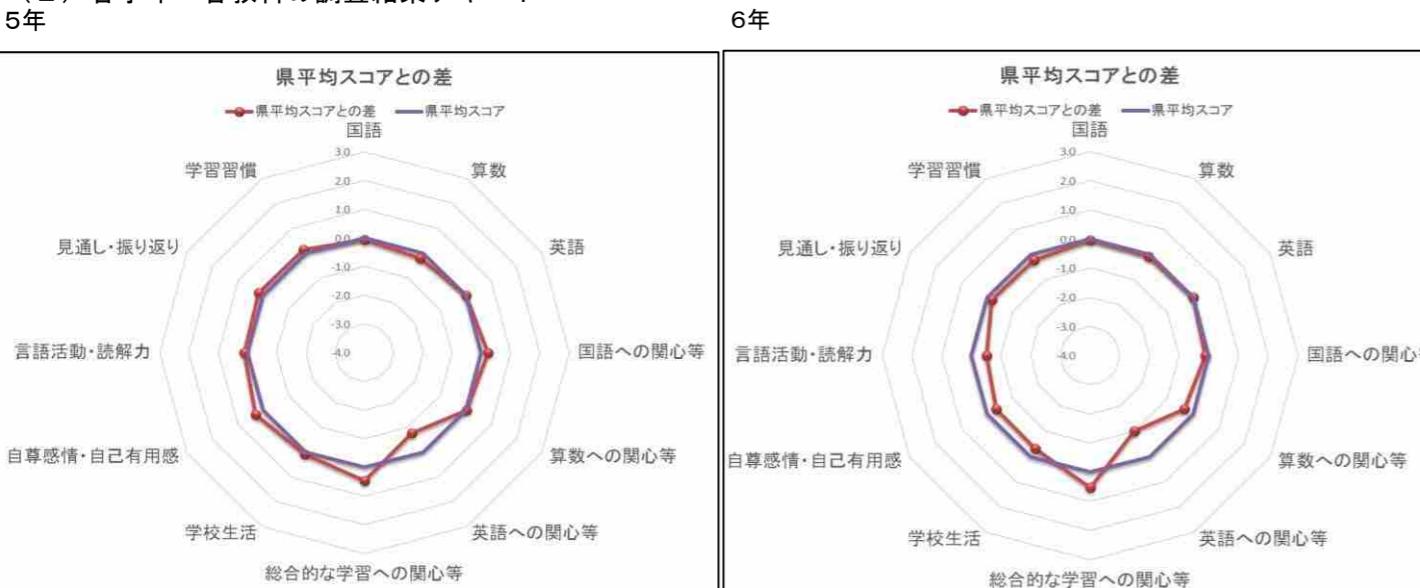


# 平成30年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立津田小学校)

## (1)学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○該当学年の漢字を読むことは、県平均を上回っている。 ●修飾語や被修飾語の関係を理解することや、知識や情報を考えたことに結びつけることに課題がある。	・言葉の関係やある考えに関する資料を選択する学習を定期的に行い、多様な場面から適切なものを選択する力を育てる。
	算数	○直方体の面と面との関係についての理解は、県平均を上回っている。 ●小数の意味や計算と直方体の展開図や高さと体積の関係を理解することに課題がある。	・小数の意味を理解する授業を大切にするとともに、小数を含んだ計算を繰り返し行う。 ・展開図など図形については、実際に組み立てる体験を積みながらイメージする時間もつくる。
6年	国語	○ローマ字の綴りについては県平均を上回っている ●漢字を正確に書くことに課題がある。	・漢字練習を適切に行うとともに、漢字を単語として練習するだけではなく、日頃から日記や作文の中で学習した漢字を使うよう心がけることでその漢字の意味を理解していく。
	算数	○速さについては、単位を考えながら計算することが県平均を上回っている。 ●分数や小数の混じった計算を正確に行う技能に課題がある。	・小数の意味をしっかり理解できる授業を展開し、小数・整数・分数の混じった計算を継続的に行う。 ・割合についても、割合で示された数値と実数の関係について読み取る学習を行い、その良さを味わう。

## (2)各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

	国語	算数
5年生	本校	62
	松江市	63
	島根県	63

受検者数  
5年生 108 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。  
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

## (3)生活・学習に関する意識調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に 関わる事項	○授業中、自分の考えを発表する機会があったり、授業の最後に振り返ったり、家でもふり返ったりすることは県平均を上回って行っている。 ●家庭学習の時間が県平均よりも低くなっている。	・授業に関わることはよい傾向にあるので、めあてと振り返りを明示しながら深い学びができる授業を実践していく。
	家庭学習に 関わる事項	○家庭で授業の復習は県平均を上回るほどできている。 ●家庭学習を1時間以上している児童は、県平均を下回っている。	・家庭学習の意義について理解できるよう指導するとともに、家庭での学習が習慣化するよう意識づけていく。
6年	授業改善に 関わる事項	○図書館での授業や読書を好む児童の割合は県平均を上回っている。 ●授業中に、課題の解決に向けて、自分で考えたり発表する機会が多いとは言えない。	・読書の習慣を大切にし、自分で考える時間をしっかりと。 ・発表することの意義を子どもと一緒に考え、その良さを味わう授業を展開する。
	家庭学習に 関わる事項	●5年生と同様に家庭学習を1時間以上している児童は、県平均を下回っている。同時に、授業の復習を家庭でしている児童も県平均を下回っている。	・家庭学習の意義について理解できるよう指導するとともに、家庭での学習が習慣化するよう意識づけていく。 ・授業の復習や予習を中心に家庭学習を行うよう働きかけていく。

## (4)生活・学習に関する意識調査の結果

